



国行 隆次郎の墓 (1843-1866)

1843(天保14)年阿月に生まれる。克己堂で学び、奇兵隊に入隊。四境の役の時、第二奇兵隊第二小隊長となり大島へ出陣。24歳で戦死する。



白井小助(小介)屋敷跡 (1826-1902)

1826(文政9)年秋に生まれ、26歳のころ阿月に移住して浦鞠員の家臣となる。第二奇兵隊の創設に尽力し、四境の役大島口戦で総督。戊辰戦争では討幕軍参謀をつとめる。維新後は平生の田舎路本に飯山塾を開いて子弟教育につとめた。

百毛道跡

室町時代から江戸時代にかけての埋蔵跡。2007(平成19)年に調査された。



円勝寺(浄土真宗)

1397(応永5)年宗順という人が開創したと伝えられている。この地方で最も古い浄土真宗の寺。境内には不凍の太木がある。阿月のカルタに、「やさしさは円勝寺光聖作の阿弥陀さま」とうたわれている。

若休寺(曹洞宗)

もとは心岳寺といわれていたが、浦氏の菩提寺となり、1648(慶安元)年に改称。2003(平成15)年に、浦氏歴代の肖像画が市に寄贈され、市文化財に指定された。



浦家墓所

セブツバキの大木(竹垣の名木) 2~3月に開花



面影山

古来から和歌によく詠まれた山。

万葉歌人大伴坂上郎女
「我が背子が面影山のさかさまにわれのみ恋ひて見ぬはむら」
「目の覚めて隙より月を眺むれば面影にのみ君は見えつる」

坂田昌一の墓碑 (1911-1970)

日本を代表する理論物理学者。正面は郭沫若の漢詩、側面には湯川秀樹博士の撰文を刻した銅板がはめ込まれている。



芥川義天出生の寺 (1847-1905)

秋良教之助の妹の子として円覚寺に生まれ、克己堂で学び、赤祢武人に誘われて奇兵隊入隊。第二奇兵隊では書記をつとめ、四境の役大島口戦で活躍。明治に入り、阿月で教育に尽力した。



克己堂跡(旧阿月小学校)

阿月の領主浦鞠員が1842(天保13)年、家臣の子弟教育のためつくったもの。学頭秋良教之助を筆頭に松村文祥、白井小助、赤祢武人、世良修蔵、秋良雄太郎、芥川義天など、明治維新に貢献した数々の人材を輩出した。浦氏居館旧表門一棟(通称克己堂の門)は市指定史跡となっている。左側に阿月維新志士之碑がある。1902(明治35)年に解体され、小学校の校地となった。2005(平成17)年に阿月小学校は伊保庄小学校と統合し、伊保庄小学校敷地に柳井南小学校が開校。校庭にあるツジは樹齢300年以上といわれる巨木で、浦氏の旗にあたるといわれ、5月上旬頃開花の最盛期を迎える。



赤祢武人屋敷跡 (1838-1866)

1838(天保9)年柱島に生まれる。壺崎の清狂草堂で1年間月性の指導を受け、その後1853(嘉永6)年克己堂に入学。3年後松下村塾に入門し、1863(文久3)年奇兵隊総督に就任。下関で外艦と戦った。しかし高杉晋作と意見があわず、1866(慶応2)年28歳で処刑された。



世良修蔵屋敷跡 (1835-1868)

同防大島の原野に生まれ、月性の推挙で克己堂に学ぶ。奇兵隊、第二奇兵隊の幹部として活躍。その後奥羽鎮撫、総督参謀となり会津に進撃した。34歳で仙台藩士福島藩士に捕えられ斬首された。



阿月揚浜跡

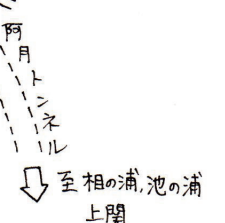
竹の浦には昔塩田があった。近世以前に築かれ、文化年間(1804-17)に新たに築かれた。明治40年頃廃止されたが、畑には帯状に細長い地割が残っている。

阿月中学校跡

1966(昭和41)年に伊保庄中学校と統合し、伊保庄上地区に柳井南中学校が開校。

阿月神明祭

阿月東西の両海岸で2月11日に行われる火祭り。昔は小正月(旧正月14-15日)に行われていた。1644(正保元)年浦鞠員が阿月領主として封封された時に伝えられたといわれている。その年の収穫の豊かなことを願う行事で、形式・規模は全国でもまれであり、2009(平成21)年に国無形民俗文化財に指定されている。



柳井お宝マップ

阿月地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5.4修正

この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年9月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)